

(様式2(1))

事業所名 グループホームこころ

作成日: 令和3年 3月 16日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	成年後見制度に対するニーズが高まる中で、今後も研修を継続し、職員の理解を深めていく必要がある。	成年後見制度についての職員の理解が深まる。	令和3年度も、成年後見制度についての研修を開催し、学んでいく。法人と相談し外部講師を招くことも検討していく。	6ヶ月
2	10	ご家族の面会が十分に行えない現在の状況で、「こころ手紙」を使い、より生活状況が分かるように、お知らせする必要がある。	ご本人にお会いできなくても、1ヶ月の様子を読み取ることができる「こころ手紙」を作ることができる。	ご利用者一人ひとりを注意深く観察し、他スタッフとの情報共有を行いながら、手紙を作成する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。